

@hagi_no_suke

大学と大学図書館

東北大学副学長・附属図書館長
大隅典子

大学図書館職員長期研修

2022年7月4日

自己紹介

1985年：東京医科歯科大学歯学部卒

大学院～助手の時代は**顔面発生**研究を専門

1989年：同大学歯学研究科博士課程修了、助手

1996年：国立精神・神経センター神経研究所室長

神経発生分野にシフト

1998年-：東北大学大学院医学系研究科教授

精神疾患モデル研究も開始

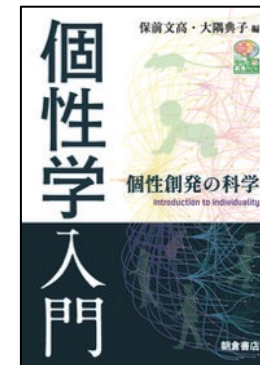
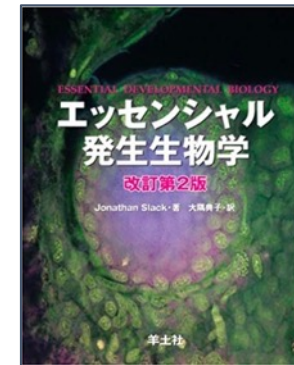
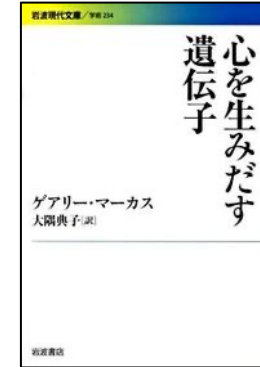
2004-2009年：CREST「脳学習」研究代表者

2007-2012年度：脳科学グローバルCOEリーダー

2010-2011年冬 プチサバティカル@ハーバード大学

2016-2020年度：**「個性」創発**脳領域代表

2018年度-：副学長(広報・ダイバーシティ担当)、**附属図書館長**



 東北大学115年のあゆみ

1907 東北帝国大学創立

1911 理科大学 * 開設 * 数学科・物理学科・化学科を設置。のちに理学部へ

1915 医科大学 * 開設 * のちに歯学部、薬学部が分立

1919 工学部設置

1922 法文学部 * の設置により、総合大学へ

* のちに文学部、法学部、経済学部の3学部へ分立

1947 農学部設置、10月東北大学に改称

1949 教育学部設置

2007 創立 100 周年

2013 女子学生入学 100 周年

2022



東北大学創立 115 周年
総合大学 100 周年

附属図書館創立！

附属図書館創立
111周年！



本館竣工50周年！
鬼頭梓による設計

本館

〔教養・人文社会科学系〕



蔵書数

420万冊

電子ジャーナル
購読数

1万4千種

古典資料

デジタル化点数

4万5千点

医学分館

〔医学・歯学系〕



北青葉山分館

〔理学・薬学系〕



工学分館

〔工学・情報科学系〕



農学分館

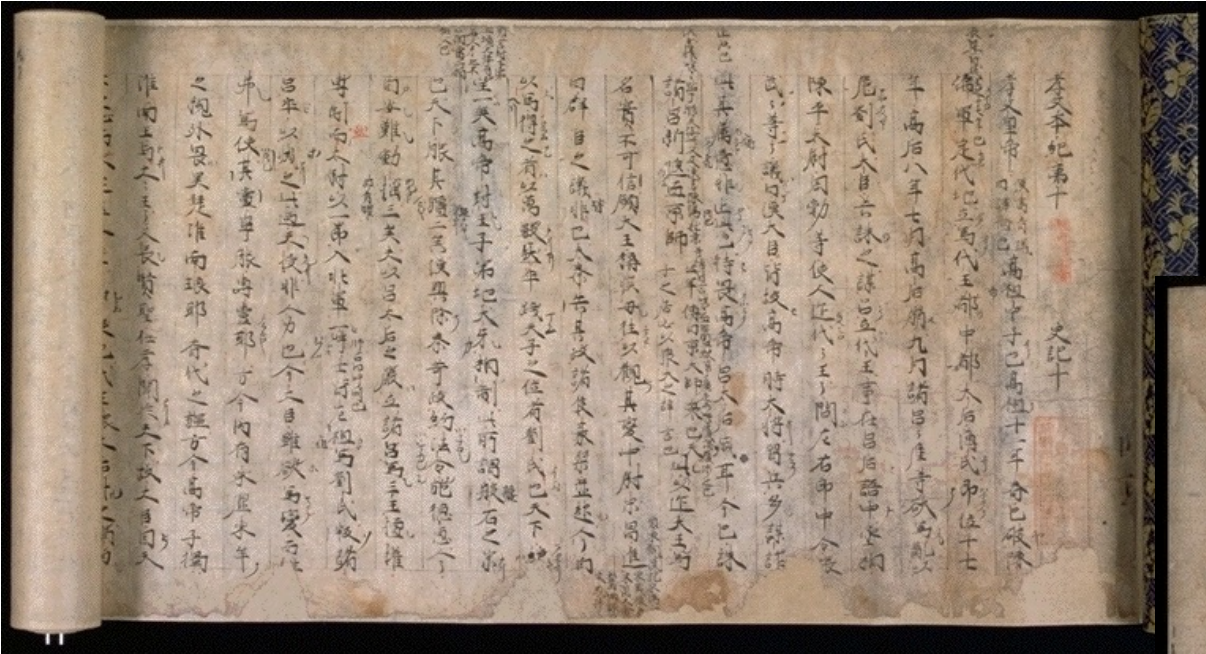
〔農学系〕



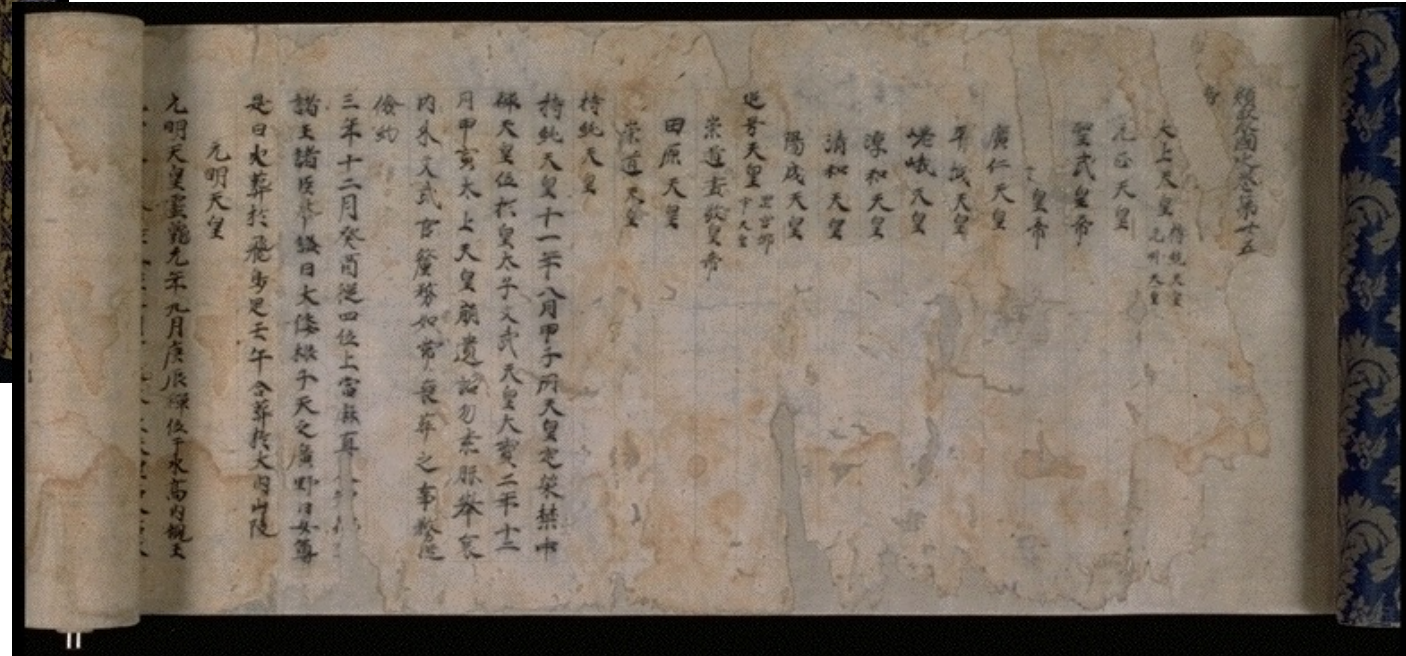
部局図書館（各研究科・研究所の下に配置）

- ・文学研究科図書館
- ・教育学研究科図書館
- ・法学研究科図書館
- ・経済学研究科図書館
- ・歯学研究科図書館
- ・数学専攻研究資料室
- ・物理学専攻図書館
- ・情報数学図書館
- ・法政実務図書館
- ・東北アジア研究センター図書館
- ・金属材料研究所図書館
- ・流体科学研究所図書館
- ・電気通信研究所図書館
- ・多元物質科学研究所図書館

国宝2点 (東北大学附属図書館所蔵)



「史記」(孝文本紀 第十)



「類聚國史」(卷第二十五)

東北大学BCPLレベル 1 となり通常開館になりました

2022/7/1より

レベル	開館等	閲覧席	館内貸出	郵送貸出	学外者	貴重書閲覧 (研究目的)
0	通常	通常	通常	あり	通常	通常
1	通常 または 短縮 (時間外・休日開館あり)	使用可 (35%減)	通常	全学生	入館貸出可 (座席使用不可)	学内者：可 / 学外者：事前予 約 (居住地の感染状況を確認)
2	短縮 (時間外・休日開館あり)	使用可 (60%減)	通常	全学生	原則 取置貸出 (入館不可)	学内者：可 / 学外者：事前予 約 (居住地の感染状況を確認)
3.0	短縮 (時間外・休日開館あり)	使用可 (60%減)	通常	全学生	取置貸出 (入館不可)	学内者：可 (人数制限あり) / 学外者：不可
3.5	平日9-17時 (時間外・休日開 館なし)	使用可 (60%減)	通常	全学生	利用不可	不可
4	休館	使用不可	入構許可者対 象に取置貸出	全構成員	利用不可	不可
5	全面休館 (職員も在宅勤務)	使用不可	不可	不可	利用不可	不可

本日の内容

1. 一歩前へ！ 「転換契約」の顛末とこれから
2. 災害レジリエントな大学図書館へ
3. オープンサイエンス推進と論文の引用数増加
4. 多様なステークホルダーとの協働

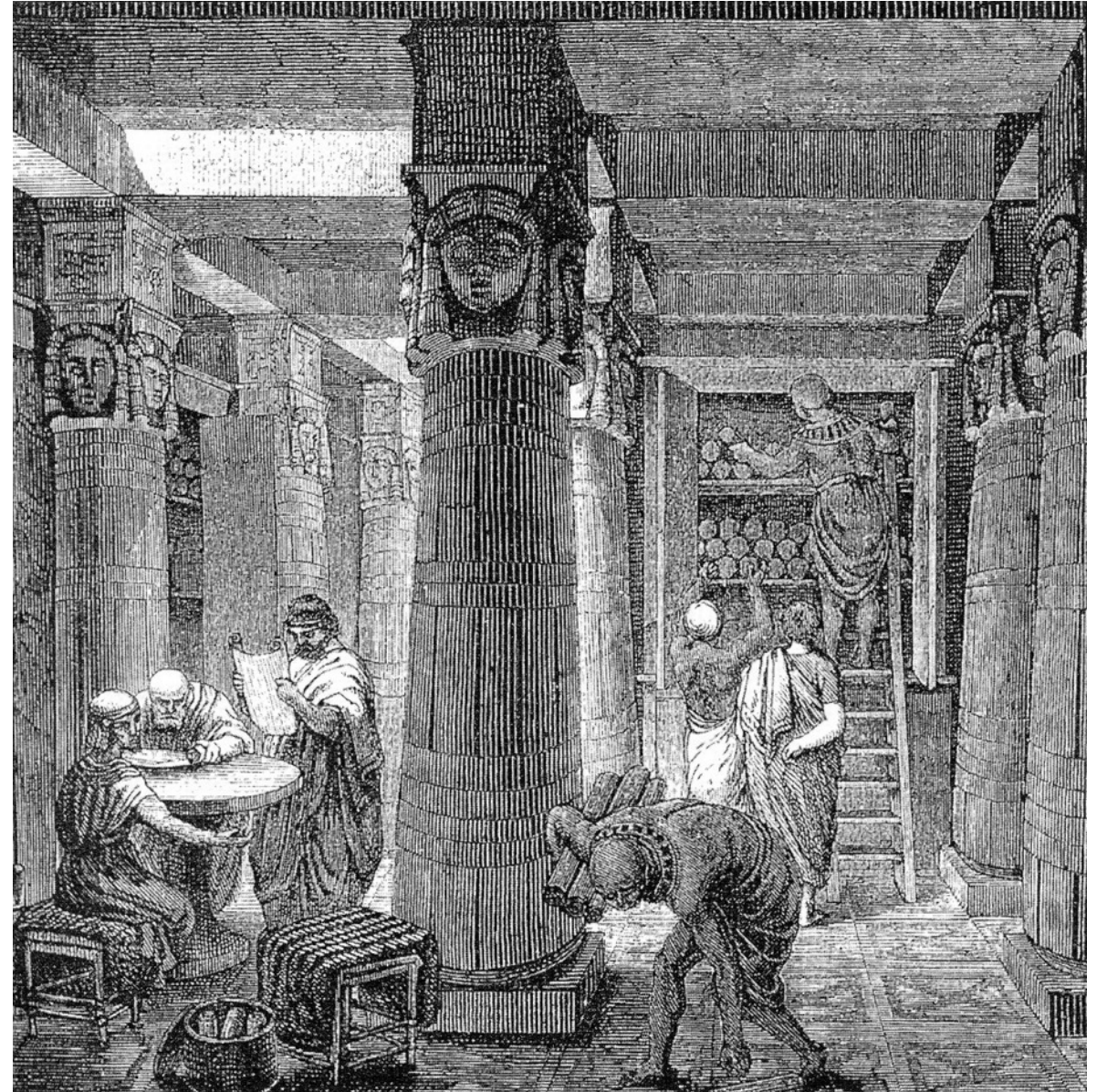


本日の内容

1. 一歩前へ！ 「転換契約」の顛末とこれから
2. 災害レジリエントな大学図書館へ
3. オープンサイエンス推進と論文の引用数増加
4. 多様なステークホルダーとの協働



楔形文字が刻まれた粘土板
(大英博物館所蔵)



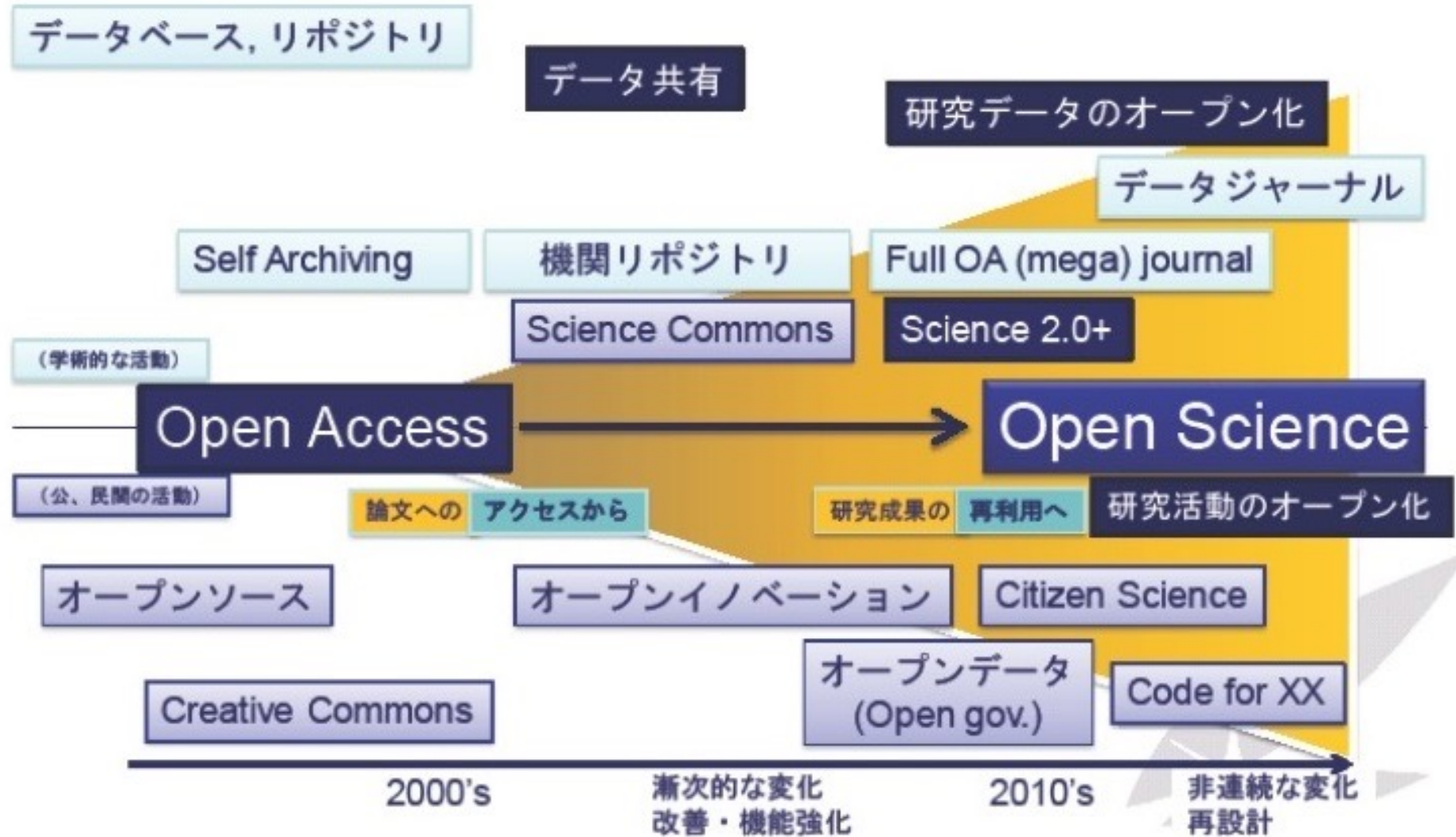
アレクサンドリア図書館

<https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Ancientlibraryalex.jpg>

「知の府」としての大学図書館



デジタル＋インターネット>>>オープンアクセス時代



出典：内閣府報告書「我が国におけるオープンサイエンス推進のあり方について」（2015.3.30）

<https://www8.cao.go.jp/cstp/sonota/openscience/>

- どこからでもアクセス
 - リアルな図書館まで出向くことの苦痛……
 - 「アクセスできなければ買えばいいじゃない」という囁き……
- 何でもランキング！

📖 研究成果

年別の研究成果



8857

被引用数

49

h-index

178

Article

21

Review article

6

Chapter

6

Comment/debate

2

その他

Detection of REST expression in the testis using epitope-tag knock-in mice generated by genome editing

Kimura, R., U. Inoue, Y., Kikkawa, T., Tatehana, M., Morimoto, Y., Inada, H., Oki, S., Inoue, T. & Osumi, N., 2022 3月, In: Developmental Dynamics. 251, 3, p. 525-535 11 p.

研究成果: Article > 査読

Transcriptional Silencer Elements

Gene Editing

Testis

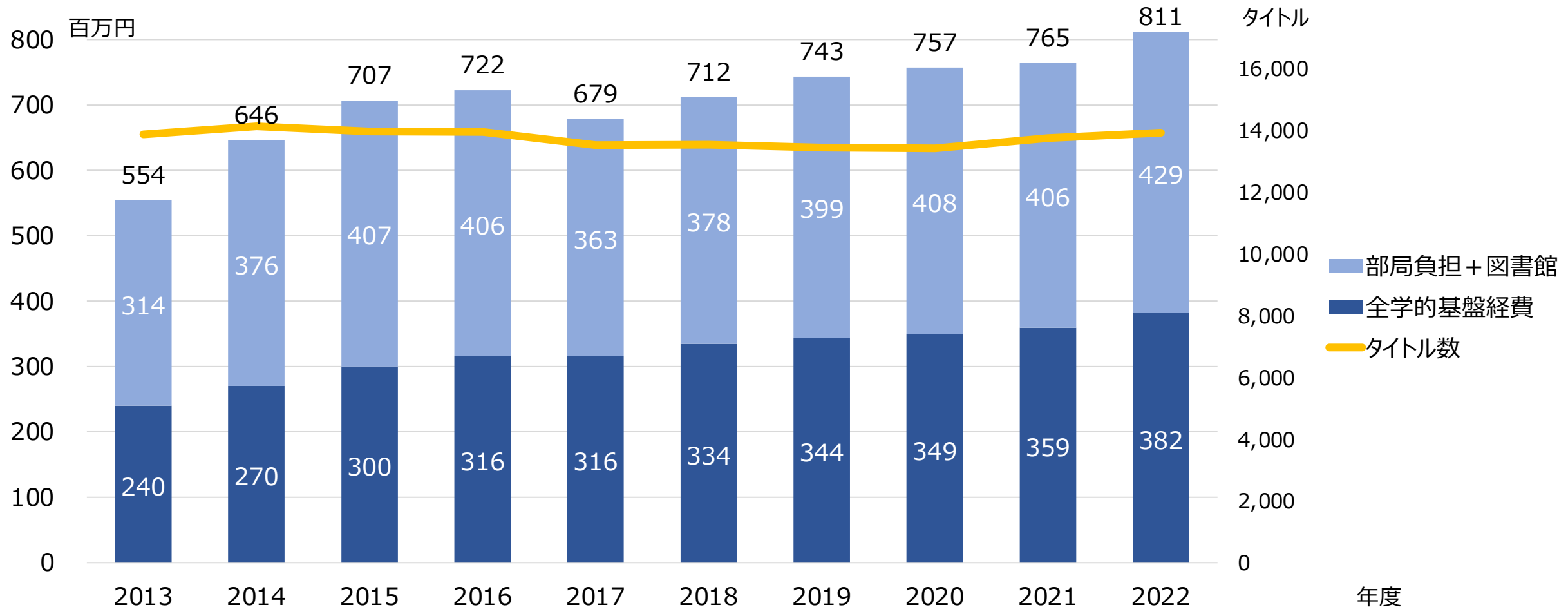
Epitopes

Transcription Factors

1
被引用数
(Scopus)

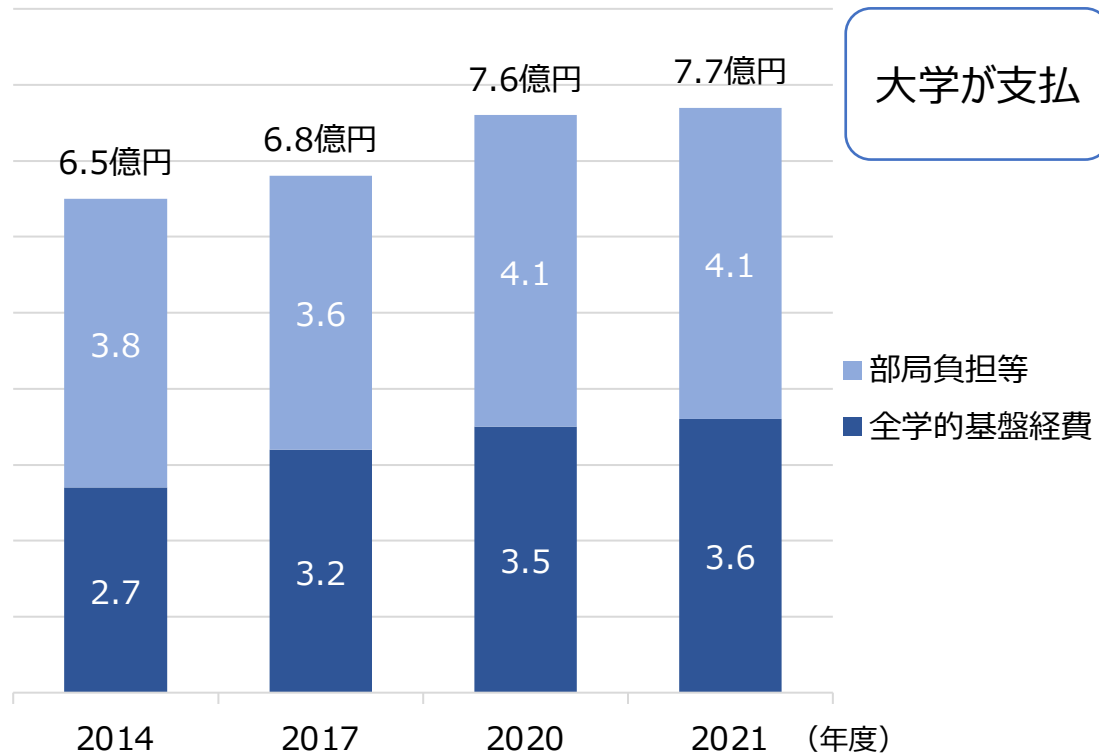


背景：〔東北大学〕電子ジャーナル等購読料の推移

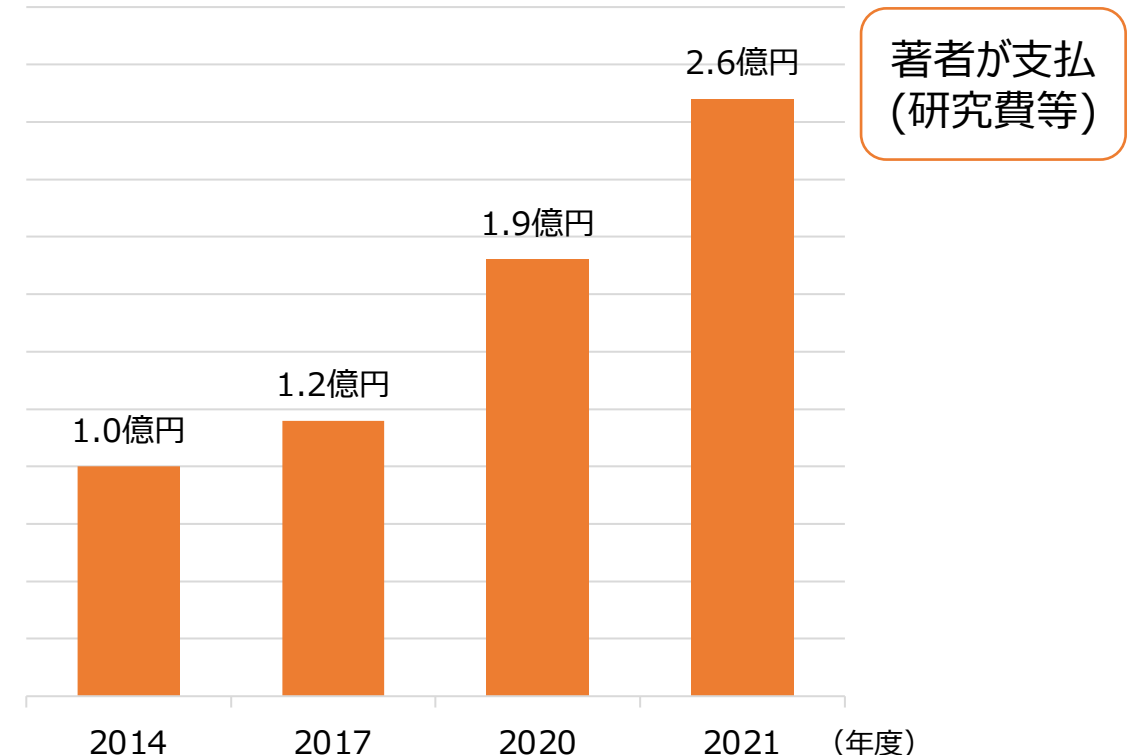


- 10年間で 2.6億円の増加（ジャーナル原価の上昇、為替レートの影響）
- 全学的基盤経費（中央予算）の増額は限界に → 支出を抑えない限り、部局負担が増える一方

① 本学の電子ジャーナル等購読料

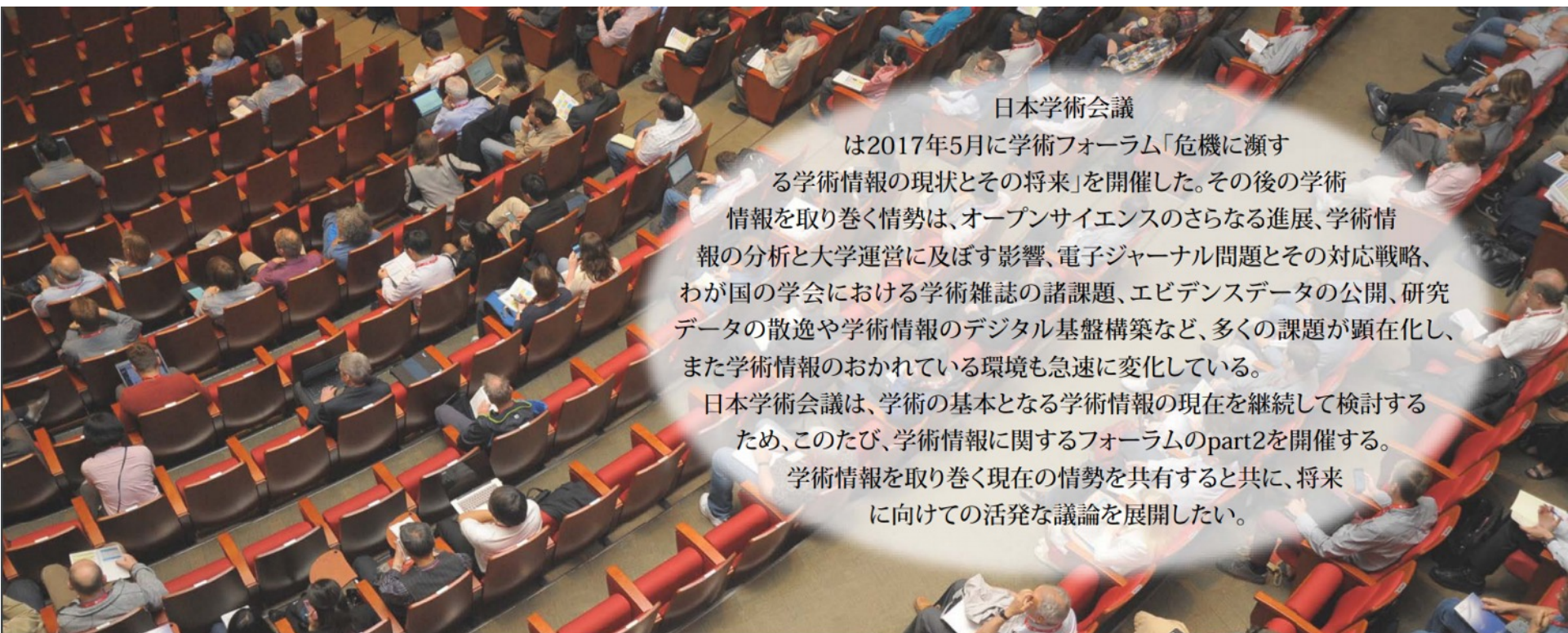


② 本学のAPC支出額 (推定)



※APC (Article Processing Charge)
論文をオープンアクセスにするために出版社へ支払う費用

- APC (論文掲載料) も価格上昇、支払額も年々増加
- ① + ②により、大学から出版社への支出総額が増大



日本学術会議

は2017年5月に学術フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状とその将来」を開催した。その後の学術情報を取り巻く情勢は、オープンサイエンスのさらなる進展、学術情報の分析と大学運営に及ぼす影響、電子ジャーナル問題とその対応戦略、わが国の学会における学術雑誌の諸課題、エビデンスデータの公開、研究データの散逸や学術情報のデジタル基盤構築など、多くの課題が顕在化し、また学術情報のおかれている環境も急速に変化している。

日本学術会議は、学術の基本となる学術情報の現在を継続して検討するため、このたび、学術情報に関するフォーラムのpart2を開催する。

学術情報を取り巻く現在の情勢を共有すると共に、将来に向けての活発な議論を展開したい。



日本学術会議主催
学術フォーラム

危機に瀕する学術情報の現状とその将来 Part 2

日時：平成31年4月19日(金) 13:00~17:30

会場：日本学術会議講堂(東京都港区六本木7丁目22番地34号)

主催：日本学術会議
参加費：無料
定員：300名

申込方法：以下の申込フォームより申込ください
<https://ws.formzu.net/fgen/S25136437/>

PROGRAM

東京メトロ千代田線
7-1650

我が国の学術情報流通における課題への対応について
(審議まとめ)

令和3年2月12日

科学技術・学術審議会 情報委員会 ジャーナル問題検討部会

【大学等研究機関（執行部）】

- 関連データを収集した上で、各自の研究戦略に基づき、最適な契約形態を定め、契約内容・経費配分を組み換えること。
- **各自の最適な契約形態等を定めた上で、同程度の規模や契約状況等の大学等研究機関を契約主体としてグループ化し、交渉主体を明確にする取組の検討を開始すること。**
- 各機関が契約しているジャーナル等の情報を共有し、足りない部分を補いあえるような有機的なネットワークを構築することについて検討すること。

【大学等研究機関（図書館等の学術情報流通部門）】

- 関連データを収集、分析し、その結果を執行部と共有すること。
- APC支出額等、図書館だけでは収集が困難なデータについても、関係各部署と連携し、収集すること。
- 自機関の執行部のみならず、所属する研究者等へも現在の自機関の状況等に係る情報提供、説明を積極的かつ丁寧に行うこと。

2022年2月8日

報道機関各位

国立大学法人 東北大学
 国立大学法人 東京工業大学
 国立大学法人 総合研究大学院大学
 学校法人 東京理科大学
 Wiley

東北大学・東京工業大学・総合研究大学院大学・東京理科大学と Wiley、
 日本発の研究成果のオープンアクセス化の促進に関する覚書に署名

国立大学法人東北大学、国立大学法人東京工業大学、国立大学法人総合研究大学院大学(総研大)、学校法人東京理科大学の4大学の図書館長と、研究・教育分野をリードするグローバル企業 Wiley(日本法人:ワイリー・パブリッシング・ジャパン株式会社)は、2022年1月31日付にて、論文のオープンアクセス出版に関する新たな覚書に署名しました。この覚書は、近年世界的に広まっている「転換契約」(transformational agreement、用語1)と呼ばれる、ジャーナル購読モデルからオープンアクセス(OA)出版モデルへの転換を目指す契約を見据えたものであり、日本発の研究成果の論文発表におけるオープンアクセス化を一層促進する取り組みとなります。

今回の覚書は、4大学における2022年4月からの「転換契約」を見据えたもので、日本の複数の大学と世界的な大手出版社が参加した取り組みとしては初めてのものとなります。本覚書に参加した4大学は、国立大学、私立大学、国立研究機関(総研大を構成する大学共同利用機関)と多岐にわたります。この取り組みによる新たな契約方式には、Wileyが出版する全ジャーナルの閲覧に加えて、4大学に所属する研究者の論文をWileyのハイブリッド誌(用語2)約1,400タイトルでOA出版するための権利も含まれます。

今回の覚書について、Wileyの研究出版部門 上級副社長 リズ・ファーガソン(Liz Ferguson)は、「私たちは、有力な4大学の学術成果のインパクトと認知を高める今回の合意に参加できたことを喜びとします」と語っています。

また、これまで研究論文等のOA化の促進にむけて種々の提言や大学等への助言を行っている文部科学省科学技術・学術政策研究所データ解析政策研究室 林和弘室長は、「日本において、属性の異なる複数の大学が集まり、こうした発信力にも配慮した覚書に署名できたことは、画期的なことです。今後、それぞれの大学における転換契約によるOA化の進展と大学のプレゼンスの向上に期待します。また、これをきっかけに、4大学だけでなく日本の多くの大学においても、OA化の取り組みが進み、日本発の研究成果が世界に一層インパクトを放っていくことを期待しています」と語っています。

なお、Wileyは、世界的には既に多くの研究機関・コンソーシアム・政府機関と同種の契約を締結しています。その中には、今年に入って締結された韓国・国立科学技術研究院やスロベニア・アカデミック・コンソーシアム、米・カリフォルニア州電子図書館コンソーシアム、同・カロライナコンソーシアムとの契約も含まれます。

転換契約プレスリリース (2022.2.8)

17

大手商業出版社との転換契約は国内初 画期的な試みとして注目

日本経済新聞

東北大・東工大など、論文のオープンアクセス出版に関する覚書に署名 [2022.2.8]

日本経済新聞

電子版

論文オープン化で世界に発信
東北大など大手出版と合意 [2022.3.9]

日刊工業新聞

米学術誌と転換契約
東北大など、論文引用増期待 [2022.2.23]

日刊工業新聞

ニューズスイッチ
NEWSWITCH

論文引用の増加期待、東北大などが米学術誌と始める新ビジネスモデル [2022.3.5]

科学新聞

The Science News

世界に放て 日本発の研究成果
ワイリー社との契約転換 4大学が覚書締結 [2022.2.18]

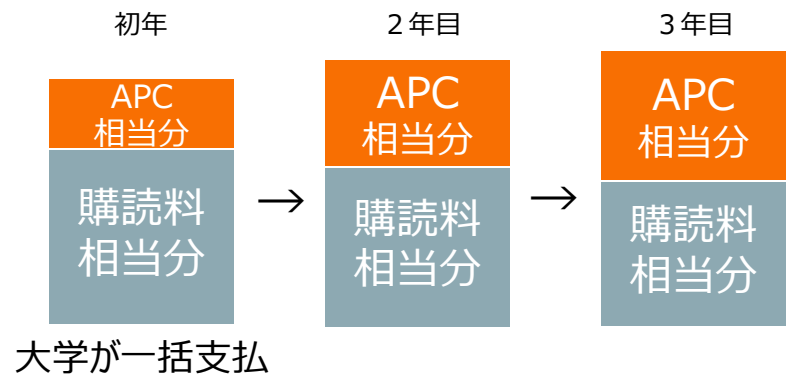
ジャーナル問題の打開策の一つとしての
「**転換契約**」

- ・ 購読からオープンアクセス(OA)出版への転換
- ・ OA出版の拡大、購読料の抑制を目指す

【従来の契約】



【転換契約】



【4大学とWiley社との転換契約パイロットプロジェクト】

- ▶ 契約期間：2022年4月1日～2024年12月31日（2年9か月）
- ▶ 契約条件：購読額＋追加料金（2年目以降は一定の価格上昇あり）
- ▶ 閲覧条件：Wiley社パッケージの全タイトル(約1,430誌)を全て閲覧可
- ▶ 出版条件：**ハイブリッド誌(約1,390誌)で、所定の論文数まではOA出版可**
(論文数の枠を超過した分は割引APCでOA出版可)

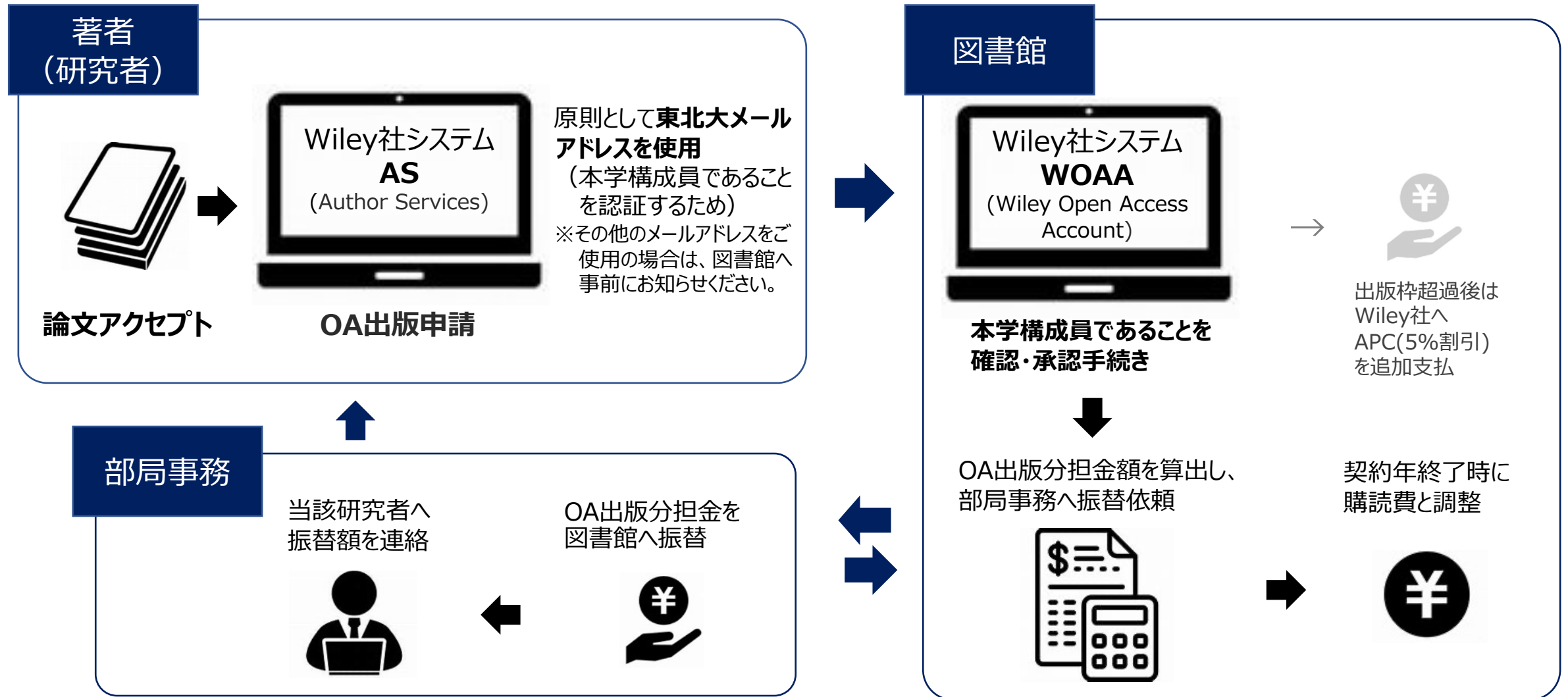
【東北大学における運用】

- ▶ **ハイブリッド誌にOA出版する場合、著者がAPCの半額を負担**
- ▶ 著者から徴収した金額を、「追加料金」の支払いと、購読料への補填に充当

【期待される効果】

- ▶ **学内研究者のAPC支払額を軽減するとともに、ジャーナル購読料を抑制**
- ▶ 論文OA化促進により、研究発信力の強化、被引用数拡大を期待
- ▶ 研究者の立替払いから図書館への一括振替移行による、支払手続きの簡素化
- ▶ 今後の他出版社との転換契約拡充に対応

Wiley社との転換契約における東北大学内のフロー

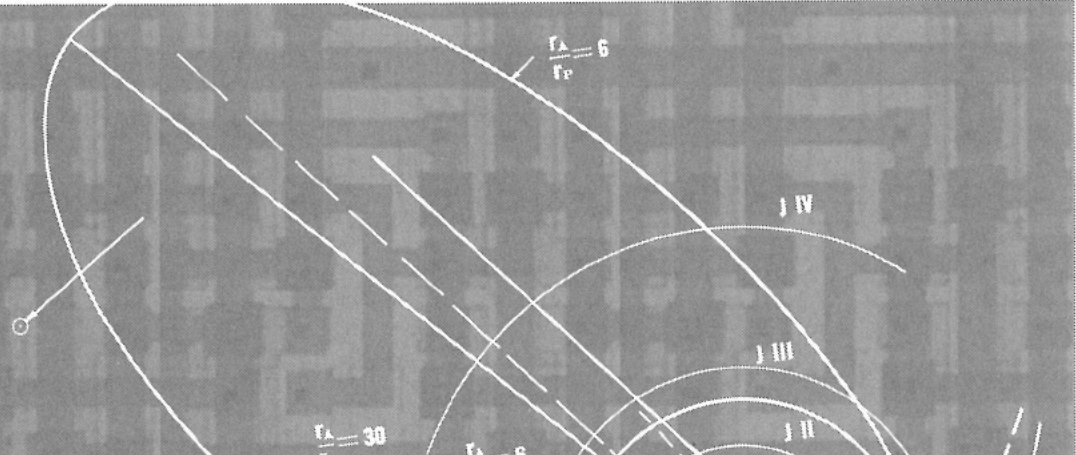


- ▶ 規程「東北大学オープンアクセス推進に係る論文掲載料支援制度実施要領」を整備
- ▶ 将来的に持続可能な体制となるよう、パイロットプロジェクト期間中に検証し、評価・判断

- 関係部署間の連携が素晴らしかった！
 - 附属図書館、研究推進課、財務部……
 - 東北大学の場合はかなり図書館主体
 - 会計システムによりAPCの把握
 - (URAセンターのご協力)
- 大義をもとに志を共にする「同志」が迅速に対応
 - 電話、メール、Slack、Zoom、……
- 3か月で16論文をOA承認 (23論文は非OA選択)
 - APCの平均は約 \$4,000 (最低 \$2,650、最高 \$5,250)



科学通信



ホーム » カレントアウェアネス-E » 2022年 (通号No.428- : E2461-) » No.437 (E2504-E2509) 2022.06.23

E2505 - 国内4大学とWiley社との電子ジャーナル転換契約の締結

カレントアウェアネス-E
No.437 2022.06.23

<https://current.ndl.go.jp/e2505>

E2505

国内4大学とWiley社との電子ジャーナル転換契約の締結

東北大学附属図書館・小陳左和子（こじんさわこ）

Wiley 社との「転換契約」締結
— 学術情報のコストは誰が払うのか？

大隅典子 おおすみ のりこ
東北大学附属図書館長

岩波「科学」6月号

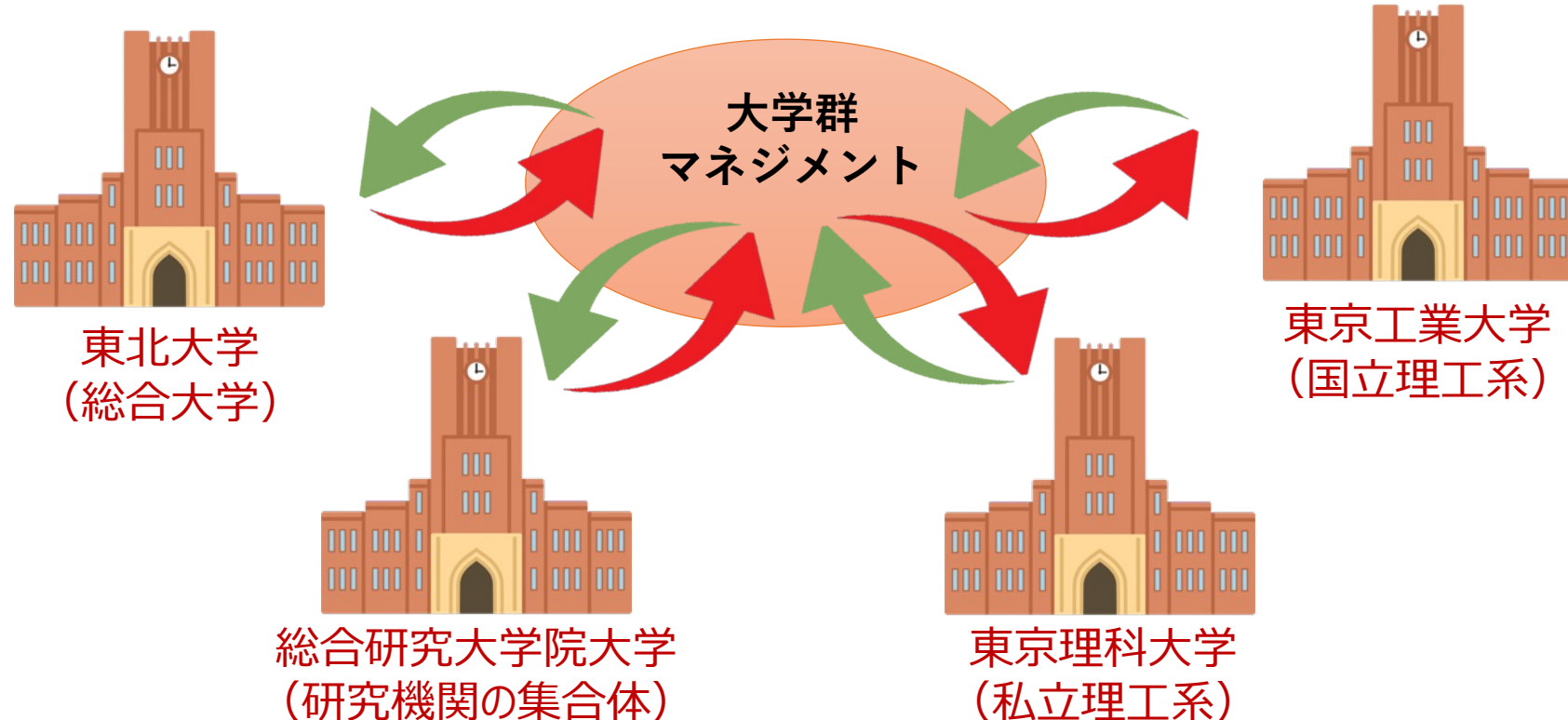
<http://hdl.handle.net/10097/00135322>

大学群としてすすめるメリット

- 一定の規模感をもったOA枠の確保（スケールメリットあり）
- そもそも個別の大学単独では転換契約の交渉規模に至らない（論文数等）

大学群として検討をすすめる上での争点と課題

- 大学群として、誰が、どのように、マネジメントするか？
- OA枠をどのようなルールのもと、分配するか？



◆ 図書館ウェブサイトに**ジャーナル問題に関する解説**を掲載
(これまで開催したセミナーの資料・動画等も掲載)

ジャーナル問題を考える

Topic

・Wiley社電子ジャーナル転換契約パイロットプロジェクトに係る論文のオープンアクセス出版について
2022年4月より標記のプロジェクトが開始され、Wiley社の雑誌に投稿した論文を通常よりも安価な費用・簡単な手続きでオープンアクセス出版を行うことが可能になりました。詳細は、[Wiley社オープンアクセス出版手続きガイド \(学内のみ\)](#) のページをご覧ください。

ジャーナル問題に係る参考情報

- 2022.02.08 東北大学・東京工業大学・総合研究大学院大学・東京理科大学とWiley、日本発の研究成果のオープンアクセス化の促進に関する覚書に署名
◆プレスリリース本文

<参考>

- 小陳左和子, 国内4大学とWiley社との電子ジャーナル転換契約の締結. カレントアウェアネス-E. 2022-06-23, (437), E2505.
- 大隅典子, Wiley社との「転換契約」締結: 学術情報のコストは誰が払うのか?. 科学. 2022-06-01, 92(6), p.507-510.
- 大隅典子, 4大学図書館による「#転換契約」: そのとき、歴史は動いた. 仙台通信 note (Sendaitribune). 2022-02-08.
- 2021.11.14 「今、日本の学術情報インフラが危ない」. 仙台通信note (Sendaitribune)
大隅 典子 (東北大学 副学長 / 附属図書館長 / 医学部・医学系研究科 教授)
- 2021.10.18 第3回 ジャーナル問題に関するセミナー (附属図書館主催)
ジャーナル問題トークセッション in Tohoku University 「東北大学のジャーナル問題を考える」
<パネリスト>
河村純一 (東北大学リサーチ・アドミニストレーションセンター長) 「URA センターから見たジャーナル問題」
米澤彰純 (東北大学国際戦略室副室長) 「日本の大学教育・研究と学術情報: 教育学分野を事例として」
早川美徳 (東北大学データ駆動科学・AI 教育研究センター長) 「東北大学における研究活動と学術情報」
大谷栄治 (東北大学大学院理学研究科名誉教授、Progress in Earth and Planetary Science 誌総編集長) 「学術誌とオープンサイエンス」

<http://www.library.tohoku.ac.jp/research/journalissues.html>

◆ 学内研究者・職員を対象とした**セミナー**の開催

- 学術雑誌の動向に関するセミナー2019
大隅典子附属図書館長が学内6か所で講演 (2019.4~9)

□ ジャーナル問題に関するセミナー シリーズ

第1回 (2021.3.4)

演題: ジャーナル問題をどのように判断するか?

講師: NII 船守美穂准教授

第2回 (2021.5.27)

演題: 研究のマス化とデジタル時代における研究評価

講師: NII 船守美穂准教授

第3回 (2021.10.18)

演題: トークセッション「東北大学のジャーナル問題を考える」

講師: 東北大学 河村純一教授, 米澤彰純教授,
早川美徳教授, 大谷栄治名誉教授

第4回 (2022.5.18)

演題: Wiley転換契約パイロットプロジェクト説明会

講師: 東北大学 大隅典子附属図書館長 ほか

FAQ 3 : なぜ著者の負担を半額に？

- 大学として持続可能なモデルを目指した（財源の面で）
- 「三方よし」の説明
 - ✓ 著者：通常のAPC額よりも大幅に負担減
 - ✓ 部局：購読額へ振り替えられれば、部局も負担減
 - ✓ 大学：OA論文増により、学内研究成果の可視化

※ 半額でも支払えない研究者はOAを選択しないデメリットも

参考：カリフォルニア大学のElsevier社との転換契約（2021.4～2025.3）

multi-payer model 大学がAPCの\$1,000を負担 + 著者が残額を負担
(研究助成を得ていない研究者の分は大学が全額負担)

船守美穂. mihoチャンネル (2021-03-25) より <https://rcos.nii.ac.jp/miho/2021/03/20210325/>

- 国内の他の大学へ拡充
 - ※ 交渉開始当初から、他大学への展開を意識
- 他の出版社へ拡充
- 他大学、コンソーシアム（JUSTICE）との連携強化
- パイロットプロジェクトの効果の測定

知のインフラを支える仕組みを皆で考えよう！



エルゼビア社が提供する研究ツール



- エルゼビア社がM&Aを繰り返すことにより、様々な研究ツールを整備

研究ワークフローのすべてを掌握

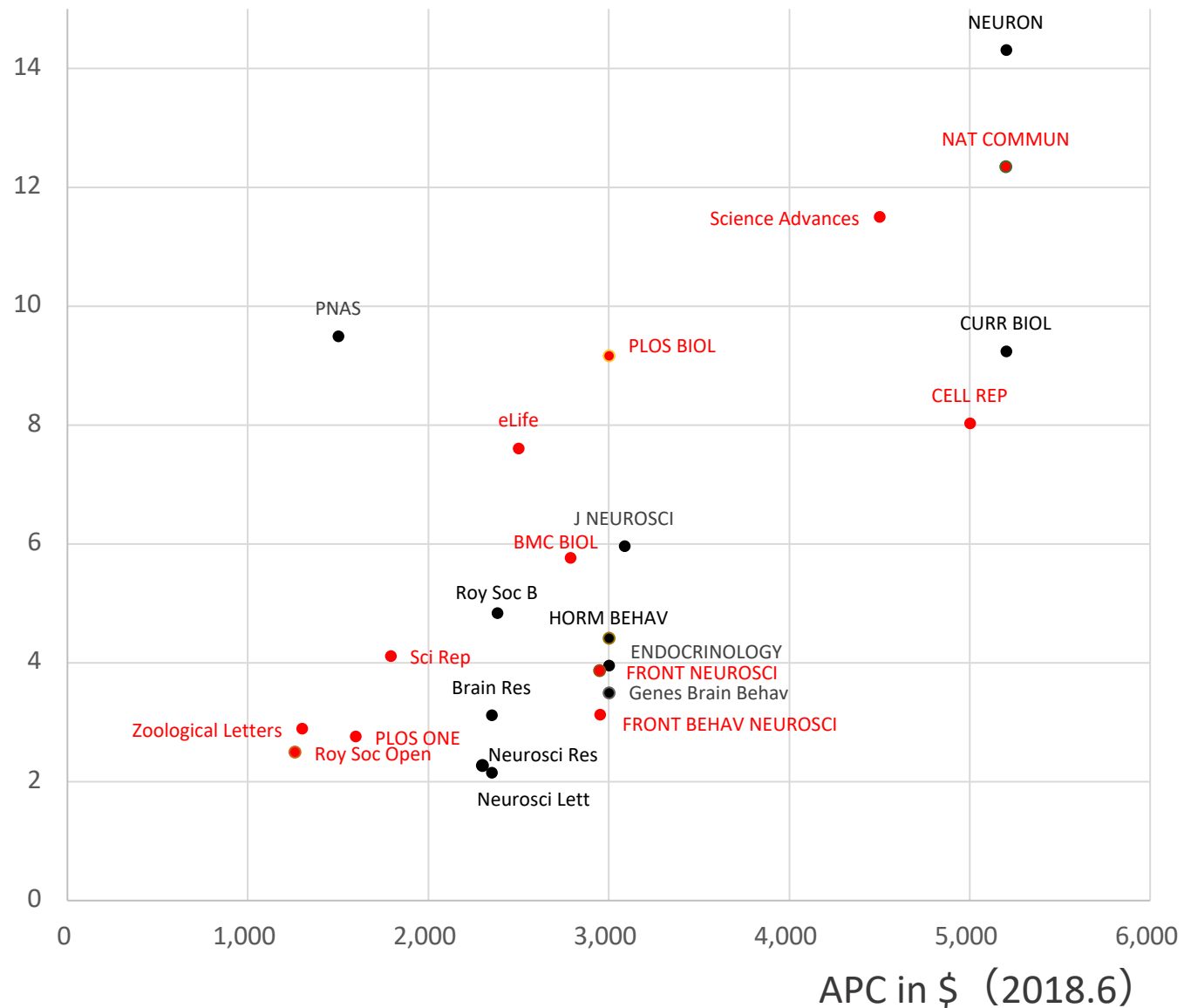
- 他社も同様の戦略

そもそも、このままで良いのか？

IF/APC相関図

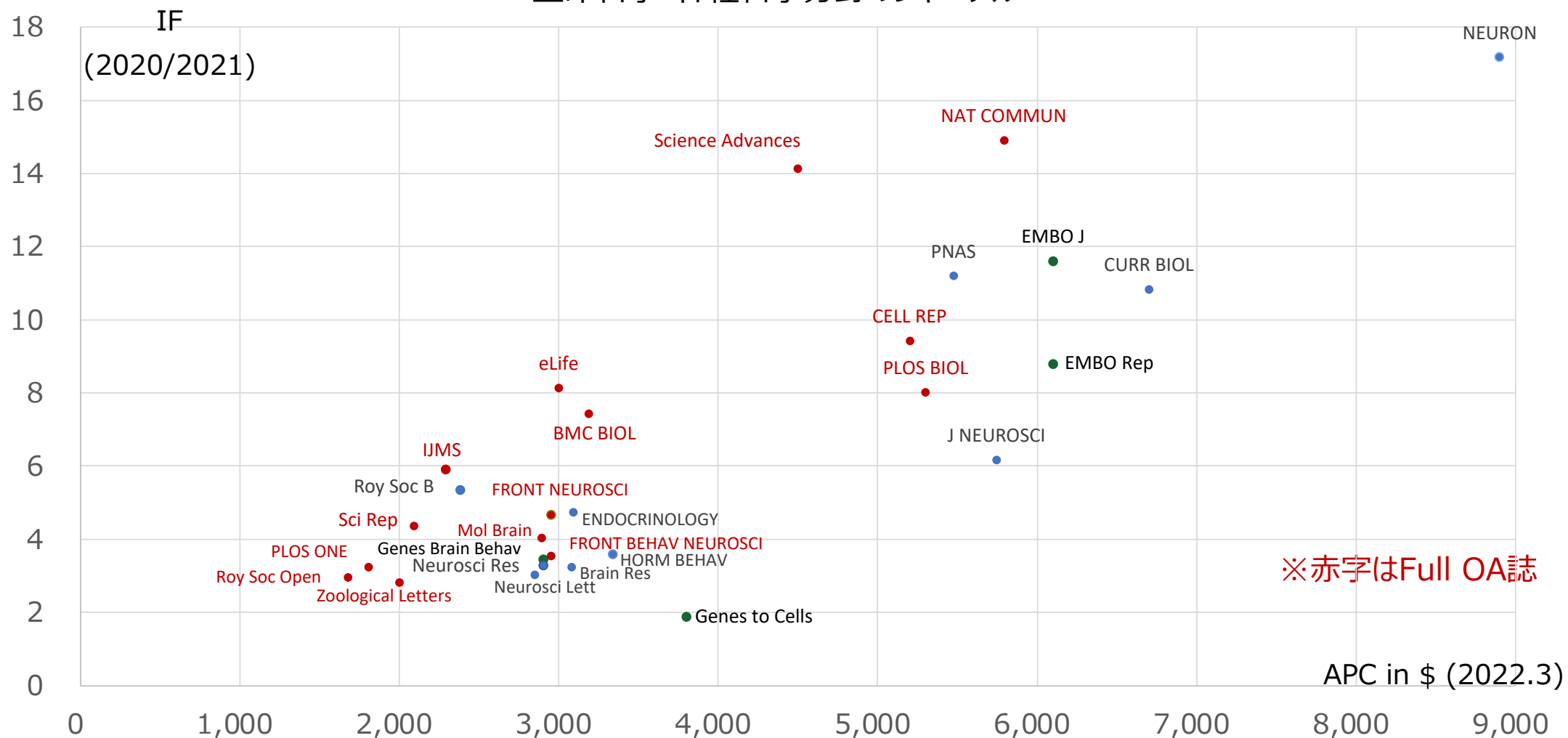
Impact Factor
(2017/2018)

生命科学・神経科学分野のジャーナル



• 出版社の言うがまま？

生命科学・神経科学分野のジャーナル



Toward the Next 100 Years

THE
TOHOKU JOURNAL
OF
EXPERIMENTAL MEDICINE

Since 1920

About TJEM

The Tohoku Journal of Experimental Medicine was founded in 1920.

The TJEM is open to original articles in all branches of medical sciences. The TJEM also covers the fields of disaster-prevention science, including earthquake archeology.

Recent Issues

[TJEM online](#)

[Advance online publication](#)

[Vol. 257, No. 2 June, 2022](#)

2021 Impact Factor: 2.547

5 year Impact Factor: 2.358
Acceptance Rate in 2021: 16%

[The TJEM Best Citation Award](#)

- J-Stageのプラットフォームにて運用
- Full OA ジャーナル
- 2021年のIF=2.547
- APCがお得♪

Charges for Open Access of Articles

PDF pages on the Web	Charge for Open Access
5	65,000 JPY
6	70,000 JPY
7	75,000 JPY
8	80,000 JPY
10	90,000 JPY
12	100,000 JPY

Please note that the charge for Open Access of an article with 10 printed PDF pages is only 90,000 JPY (approximately 820 USD).

Color Figure Charges (Optional): If you hope to have color figures on the printed version and reprints, the printed page with color figure(s) is charged at 60,000 JPY/page (subsequent pages with color figure(s): 45,000 JPY/page).

- バックファイルの整備？

誰が知のコストを払うのか？



本日の内容

1. 一歩前へ！ 「転換契約」の顛末とこれから
2. 災害レジリエントな大学図書館へ
3. オープンサイエンス推進と論文の引用数増加
4. 多様なステークホルダーとの協働

「令和4年福島県沖地震」による被害

2022.3.16 (水) 23:36 発生 M7.4 (仙台市青葉区 震度5強)



本館 古典資料



農学分館 製本雑誌

種々、メディア掲載いただきました



大隅典子@東北大学 (同じsendaitribuneとしてnoteも書いて...)

@sendaitribune · 3月25日

このたびの地震による本学附属図書館の本館・分館の被災状況の概況がわかりました。「飛び出し防止バー」などが地震の強さ等によっては役に立たないことがわかります。ぜひ、ご一読ください。#東北大学 #図書館 #地震



東北大学附属図書館
TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

library.tohoku.ac.jp

東北大学附属図書館における福島県沖地震(2022...
東北大学附属図書館における福島県沖地震(2022年)
対応記録【6/14更新】

プロモーションする

2 94 86



大隅典子@東北大学 (同じsendaitribuneとしてnoteも書いて...)

@sendaitribune

また、復旧作業に関して、ご支援賜われれば幸いです。すでに100名を超える方からのご支援をいただき、職員一同、暖かいコメントに励まされています。#東北大学 #図書館 #地震



東北大学附属図書館
TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

library.tohoku.ac.jp

「図書館のみらい基金」について|東北大学附属図書館
「図書館のみらい基金」について



大隅典子@東北大学 (同じsendaitribuneとしてnoteも書いて...)

@sendaitribune

過日取材を受けました>>>本40万冊が落下、地震に頭抱える図書館 傾斜5度でもダメだった：朝日新聞デジタル asahi.com/articles/ASQ41... #宮城・福島で震度6強



asahi.com

本40万冊が落下、地震に頭抱える図書館 傾斜5度でもダメだった：朝日新聞デジ...
3月16日の地震で、東北大付属図書館（仙台市青葉区）では、おびただしい数の本が書棚から落ちた。昨年2月の地震でも同様の被害があり、ひもを渡したり、棚に...

「令和4年福島県沖地震」による被害・対応

2022.6.13現在

	書籍の落下	施設	設備	開館・対応状況
本館	157,000冊 (図書 22,000冊 雑誌 85,000冊 古典 50,000冊) ※うち、水損図書 374冊	・天井からの漏水 ・屋上冷却塔囲い壁破損 ・壁の亀裂	・空調機の使用停止 (配管破損) ・屋上クーリングタワー破損 (配管ずれ、配管支え転倒)	・ 3/17(木) 臨時休館 ・3/18(金) 短縮開館(9-17時) ・ 3/19(土)-21(月・祝) 臨時休館 ・3/22(火) 通常時間での開館再開
医学分館 ★2020年改修	60,000冊 (図書 30,000冊 雑誌 30,000冊)	・天井ボードの一部破損 ・躯体壁・ボードの亀裂 ・外壁タイル破損	・空調機グリルの落下・破損 ・書架側板の一部破損 ・書架固定壁面破損	・ 3/17(木) 臨時休館 ・3/18(金)- 短縮開館(平日9-17時) ・4/4(月)- 通常時間での開館再開(時間外利用あり) ※一部の閲覧席は利用不可
北青葉山分館 (臨時図書室) ※改修工事中	15,000冊 (図書 6,000冊 雑誌 4,500冊)		・3階特殊資料室の大型地図 キャビネット転倒	・ 3/17(木)-18(金) 臨時休室 ・3/22(火) 臨時図書室再開(平日9-17時)
工学分館	40,000冊	・壁の一部破損	・機械室設備(パイプ)の破損 ・書架の天つなぎのボルト外れ、 側板外れ	・ 3/17(木)-18(金)午前 臨時休館 ・3/18(金)午後-4/1(金) 短縮開館(平日9-17時) ・4/4(月)- 平日 通常開館(時間外,休日開館は休止) ・5/12(木)- 通常時間での開館再開(時間外利用あり)
農学分館 ★2016年竣工	110,000冊 ※2階閲覧室 の全書籍	・3階ロフトエリア天井落下 の危険性(立入禁止) ・壁の亀裂等損傷多数	・空調機落下6台 ・事務室・共用書庫ドア鍵故障 ・窓サッシの外れ ・1階ラウンジ書架3台転倒	・ 3/17(木)-当面 臨時休館 ・4/4(月)- 部分開館(平日9-17時) ・4/25(月)- 開館時間拡大(平日9-20時) ・6/13(月)- 通常時間での開館再開(時間外利用あり)

落下防止バー



農学分館 製本雑誌

上部2段に落下防止バーを設置していたが、バーを飛び越えて落下、または棚板ごと落下

※効果があった館もあり

棚の傾斜 (2021年地震以降、各館で実験中)



本館 狩野文庫

傾斜角度を変えて実験中だった
3度・4度では落下、5度では落下が抑制

※効果があった館となかった館があり

棚はめ込み式保存箱



前回(2021.2)の地震時



保存箱の設置(2021.11)

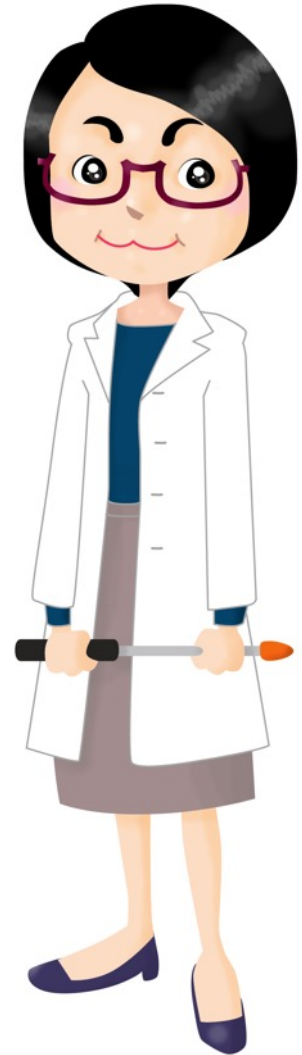


今回(2022.3)の地震

その他

- 傾斜スライド棚
- 落下抑制テープ
- チェーン、紐
- 滑り止め付きブックエンド
- 転倒防止パーツ

etc.



- すべての書籍を保管→デジタルへの移行？
 - 和書の電子化を進めるには？
- 建て替えられるなら「免震構造」に！！！！
 - 建築コスト
 - 遺跡出没…
- フィジカルとヴァーチャルの「いいとこどり」は？
 - 残したいコモンズ機能
 - ロボットの活用も？



本日の内容

1. 一歩前へ！ 「転換契約」の顛末とこれから
2. 災害レジリエントな大学図書館へ
3. オープンサイエンス推進と論文の引用数増加
4. 多様なステークホルダーとの協働

日本の大学のランキング

Rank	Name Country/Region	Overall	Citations	Industry Income	International Outlook	Research	Teaching
6	The University of Tokyo Japan	75.0	58.2	88.1	42.0	88.7	84.8
12	Kyoto University Japan	68.8	58.3	80.8	38.2	77.2	77.0
=31	Tohoku University Japan	56.1	37.8	97.2	49.5	63.2	59.2
49	Tokyo Institute of Technology Japan	50.5	33.2	80.7	46.2	60.6	51.6
50	Nagoya University Japan	50.0	41.4	97.9	35.4	52.6	47.3
53	Osaka University Japan	49.3	33.9	90.2	38.4	53.8	53.3
83	University of Occupational and Environmental Health, Japan	45.3	97.8	40.5	20.2	13.1	30.0

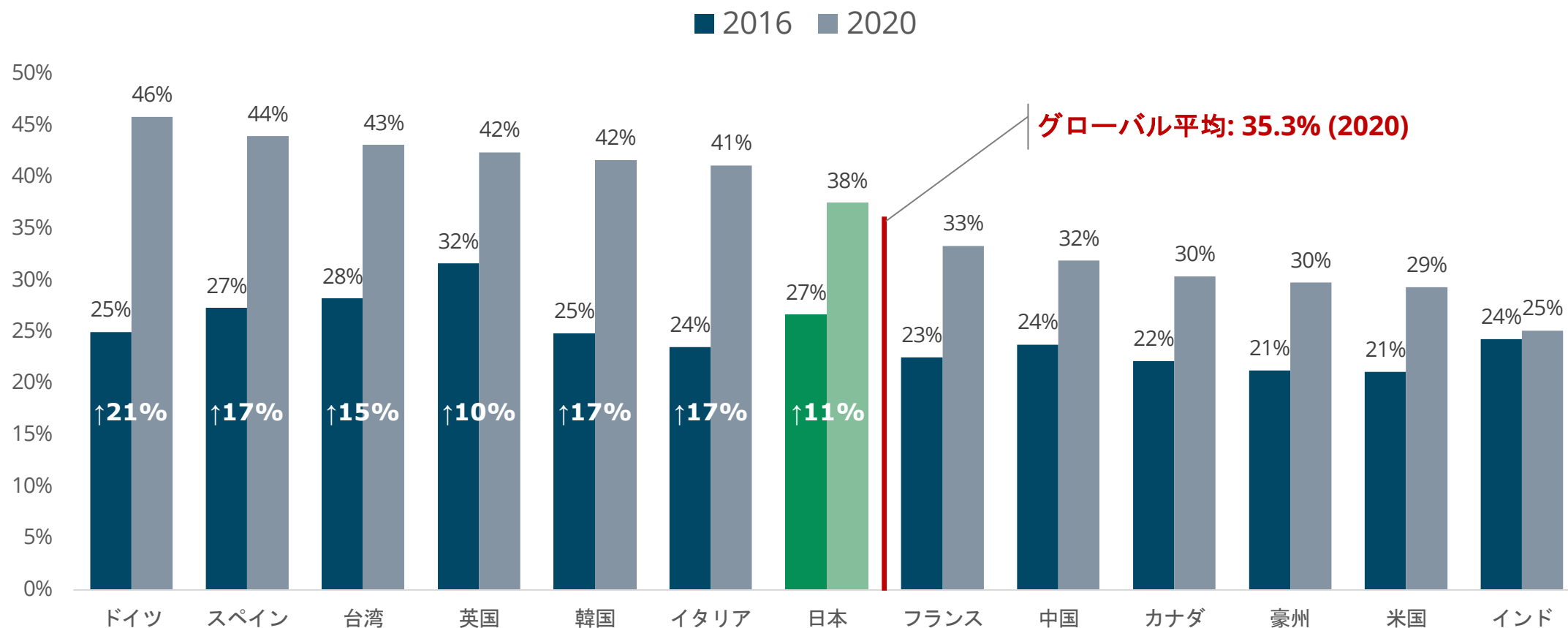
他国の上位大学と東京大学の比較

Rank	Name Country/Region	Overall	Citations	Industry Income	International Outlook	Research	Teaching
1	Tsinghua University China	87.6	86.8	100.0	50.6	95.6	86.2
2	Peking University China	87.4	81.7	93.1	65.1	95.0	90.3
3	National University of Singapore Singapore	84.7	87.3	75.4	94.4	91.3	73.5
4	University of Hong Kong Hong Kong	80.2	95.0	58.5	98.8	76.8	67.5
5	Nanyang Technological University, Singapore Singapore	76.0	85.1	87.0	93.9	74.9	58.0
6	The University of Tokyo Japan	75.0	58.2	88.1	42.0	88.7	84.8
7	Chinese University of Hong Kong Hong Kong	74.5	95.0	60.2	95.0	65.5	58.8

<https://www.timeshighereducation.com/world-university-rankings/2022/regional-ranking>

各国のOA論文の割合比較

グローバル平均以上のOA論文の割合を維持しているが、
政府や研究助成機関の方針を背景に**欧州各国のOA化率の伸びが顕著**



研究者にとって「論文出版」がゴールではない！

- 論文受理！
- OA選択、APC支払い等…
- Galley Proof確認（48時間以内！）
- 論文掲載（インターネットで公開、URL/DOI決定）！！！！
- （研究組織からのプレスリリース公開）
- **自ら拡散！！！！**（SNSの活用！）
- 研究コミュニティによるさらなる拡散！！！！
- 引用数増加に繋がる



SNS活用による引用数増加

Luc et al., Ann Thorac Surg 2021;111:296-301

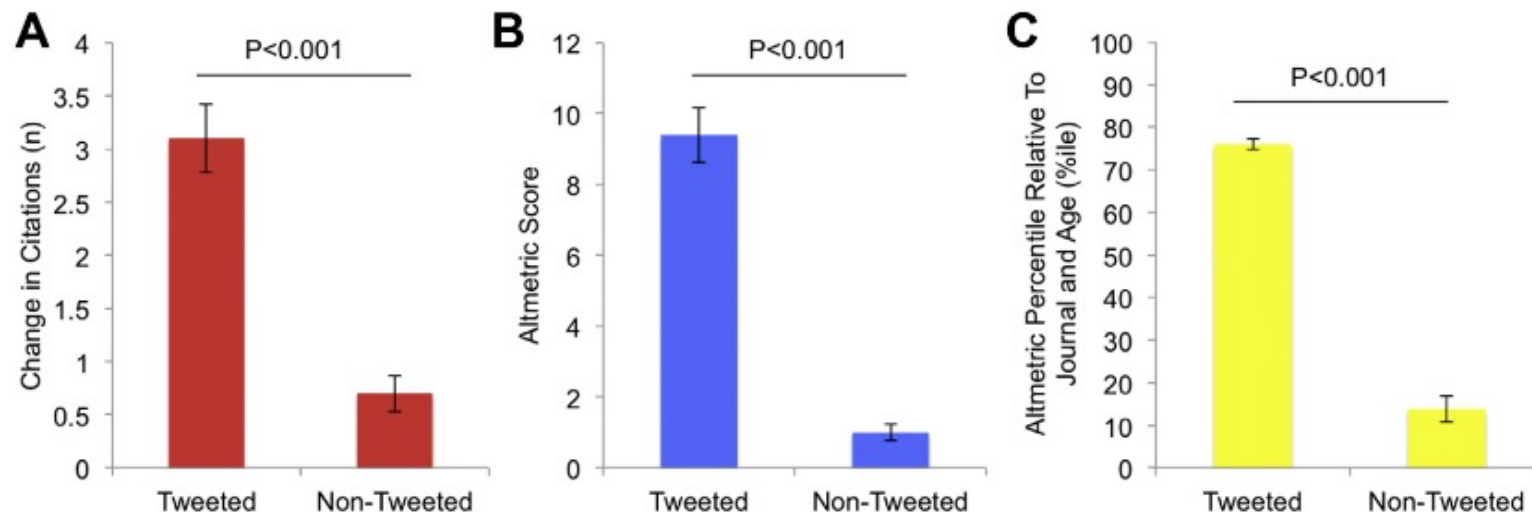
ORIGINAL ARTICLE: EDUCATION

Does Tweeting Improve Citations? One-Year Results From the TSSMN Prospective Randomized Trial

Check for updates

引用数4.4倍

Altmetric Score9.1倍



112報の論文について1:1にランダムサイズして片方はエディター（53kフォロワー）がツイートして比較

呪縛を解くこと！

- 「自己引用」は悪くない
- SNSは怖くない！





本日の内容

1. 一歩前へ！ 「転換契約」の顛末とこれから
2. 災害レジリエントな大学図書館へ
3. オープンサイエンス推進と論文の引用数増加
4. 多様なステークホルダーとの協働

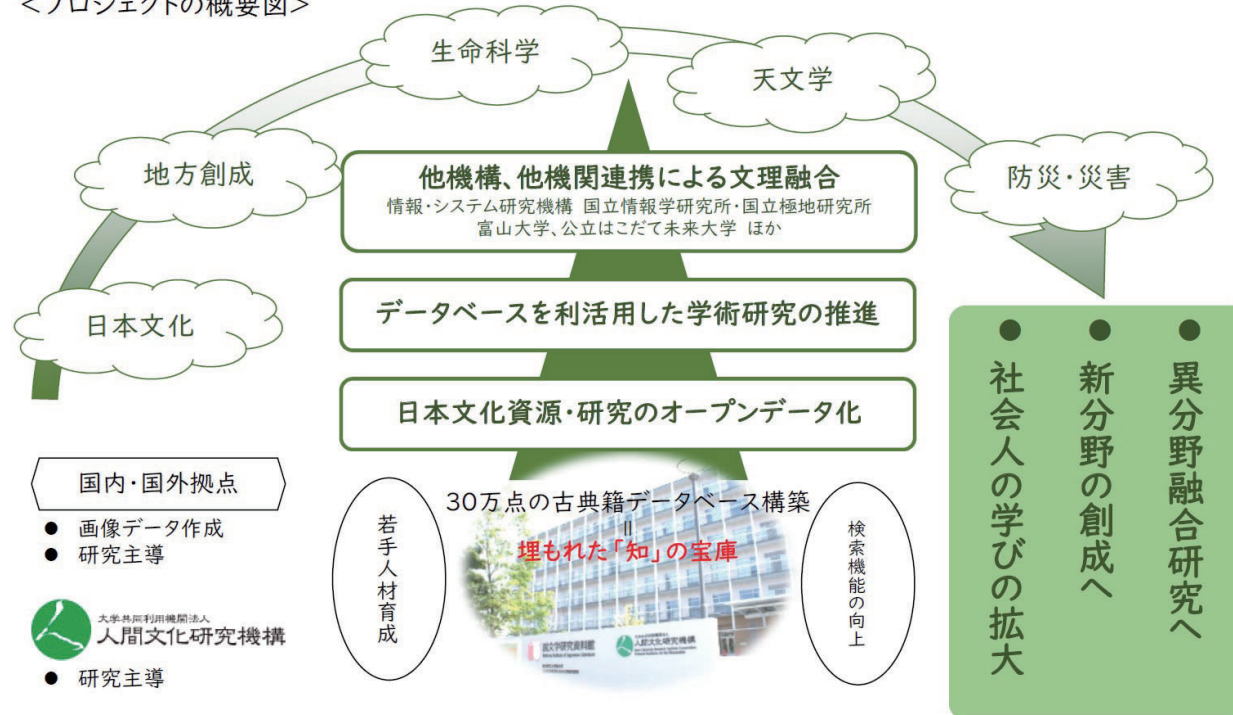
「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」とは？

本事業は、当館が中心となり、国内外の大学等と連携して、古典籍約30万点の全冊画像化を行い、当館が構築してきた古典籍の書誌データベースと統合して、自在に画像を検索できるデータベース「新日本古典籍総合データベース」という研究基盤を作り、その画像を用いて国際的な共同研究のネットワークを構築するものです。

こうした古典籍の画像化は、文化財危機（原本資料の破損・劣化、自然災害による消失等）への対応ともなり、文化財の後世への継承にも貢献することになります。

本事業における共同研究では、データベースを活用し、人文学分野にとどまらず、自然科学分野までを包括する文理融合による国際的な規模での共同研究を推進してまいります。

<プロジェクトの概要図>



◆期間 2014～2023年度（10年間）

◆事業費総額 39.5億円（要求額）

◆実施計画

- 1) 日本語の歴史的典籍DBの構築
- 2) 国際共同研究ネットワークの構築
- 3) 国際共同研究の推進

◆連携機関

<国内>

北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、お茶の水女子大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、奈良女子大学、広島大学、九州大学、慶應義塾大学、國學院大學、立教大学、早稲田大学、大谷大学、同志社大学、立命館大学、関西大学
人間文化研究機構（国立歴史民俗博物館、国立国語研究所、国際日本文化研究センター）

<国外>

コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所 ほか

新 日本古典籍 総合データベース

<https://kotenseki.nijl.ac.jp/>



唯一の日本古典籍ポータルサイト

国文学研究資料館が長年蓄積した豊富な書誌と国内外のさまざまな機関が所蔵する古典籍のデジタル画像を利用できます。



日本の古典籍にいつでもアクセス

江戸時代以前の日本の書物、「古典籍」。これまで、古典籍に蓄積された知に触れるのは、容易なことではありませんでした。でもこれからは、この「新日本古典籍総合データベース」を使っていつでもどこでも高精細デジタル画像を利用できます。

国文学の研究者だけでなく、学生、他分野の研究者、産業界、広く市民のみならずにも役立てていただけるコンテンツを公開しています。

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館

日本語の歴史的典籍の国際共同研究
ネットワーク構築計画（歴史的典籍 NW 事業）
<http://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>

2022.4
Ver.1.4

- 歴史的典籍NW事業で作成された古典籍の高精細デジタル画像を公開
 - 画像18万点を収録（2022.4現在）
- ➡ うち、**東北大学附属図書館所蔵資料は1.7万点**
（公開点数は国立国会図書館に次いで第2位）

新日本古典籍総合データベース

繪本江戸土産（えほんえどみやげ）

レイアウト変更 全画面表示

絵本/江戸土産 7

【目次】

【簡易書誌】 [書誌詳細](#)
書誌ID：100306728
DOI：10.20730/100306728
著者：松亭 金水
刊行：刊
冊数：10冊
コレクション：
東北大学附属図書館 狩野文庫デジタル
狩5-16588-10
著者：
1. 歌川 廣重 画
成立年：嘉永三・慶応三刊

ライセンス
[All Rights Reserved](#)
画像の利用条件はコレクションごとに異なります。詳しくは利用条件のページをご覧ください。
複数画像をレイアウトして表示している場合は、元の画像のライセンスのみが表示され、後から表示した画像のライセンスは表示されません。ご注意ください。

URI <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100306728/viewer/?>

東北大学附属図書館所蔵「狩野文庫」『繪本江戸土産』

READYFOR

キーワードでさがす



クラウドファンディングとは

はじめる

さがす

ログイン・登録

寄付金控除型

#宮城県 #地域 #本・漫画・写真 #寄付金控除型 #歴史 #図書館 #大学

漱石の肉筆を後世へ！ 漱石文庫デジタルアーカイブプロジェクト



東北大学附属図書館



寄付総額

4,687,000円

目標金額 2,000,000円

寄付者

217人

募集終了日

2019年12月26日

フォローする

プロジェクトは成立しました！

終了報告を読む

シェア

ツイート

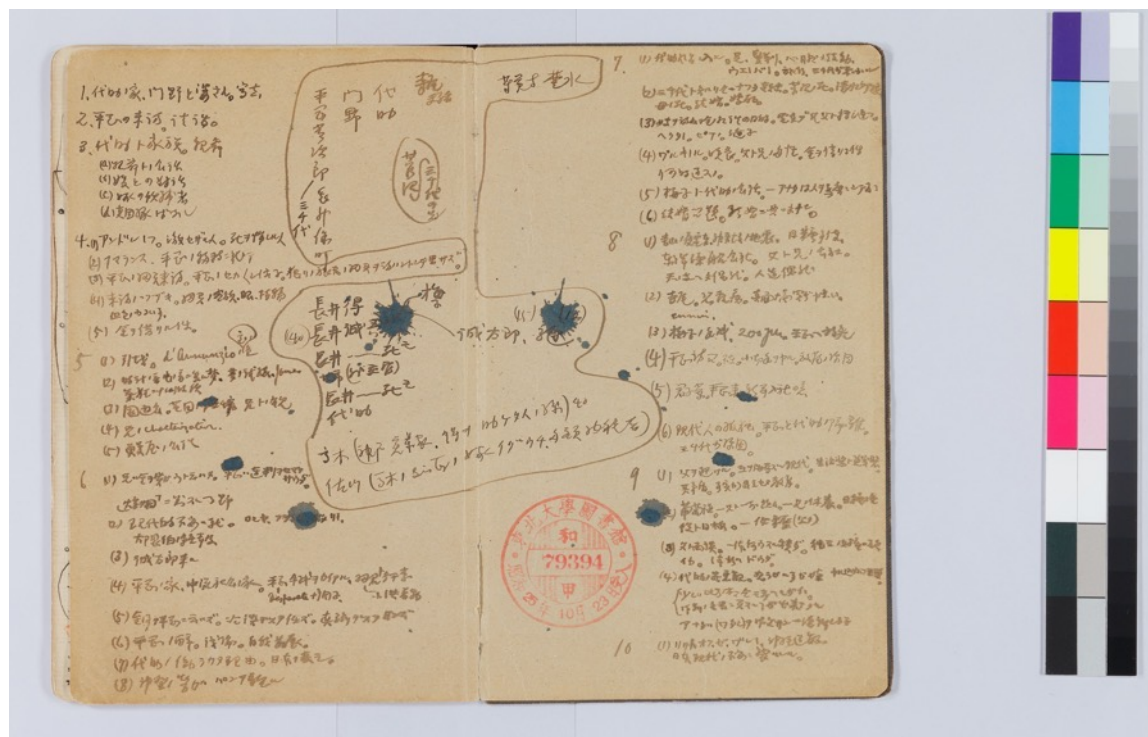
LINEで送る

noteで書く

<https://readyfor.jp/projects/soseki-library>

◆ 寄附金等によるデジタル化

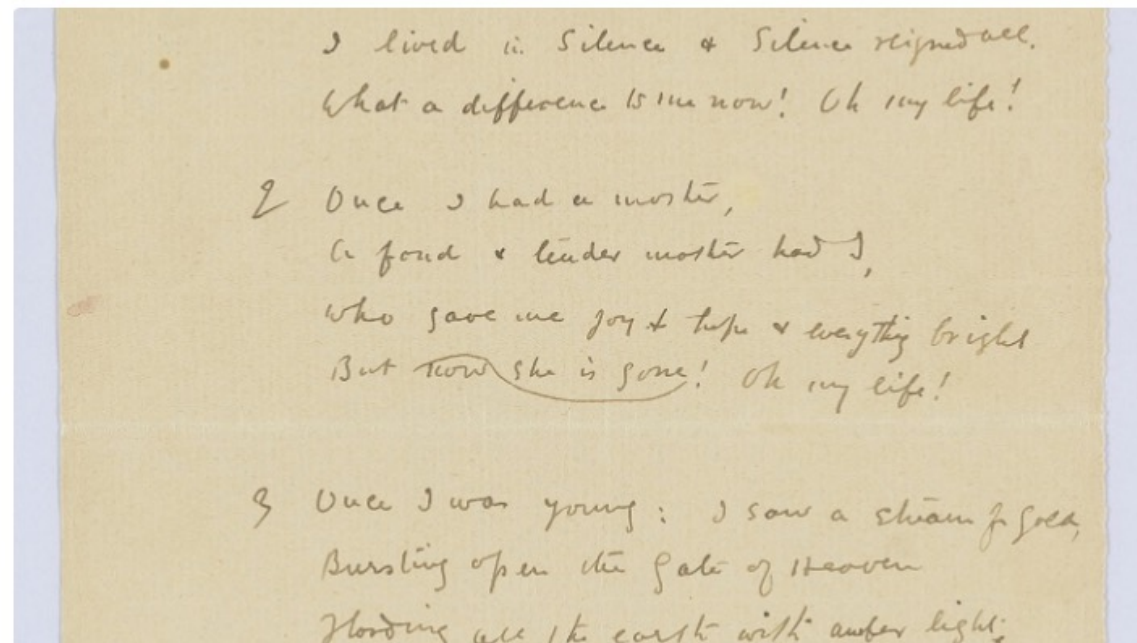
- クラウドファンディングで得た資金により、漱石自筆資料等793点をデジタル化し公開
- 今後、「図書館のみらい基金」等により、書き入れのある書籍のデジタル化を予定



『それから』 構想メモ

◆ 画像の二次利用自由化

申請不要で営利/非営利問わず利用可

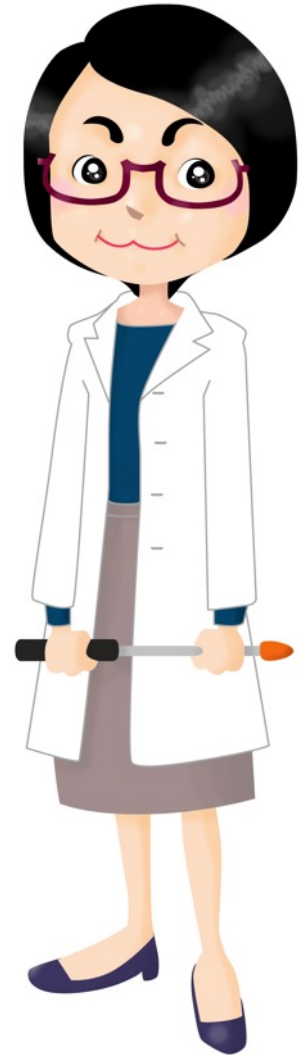


2021年10月28日 09:25

漱石文庫の公開画像は手続きなしで利用できます

皆様ご無沙汰しております。久々の新着情報となります！！本日は、漱石文庫の公開画像の利用について皆様へお知らせいたします。 昨年度、皆さまのご支援により公開した漱石文庫の画...

[もっと見る>](#)

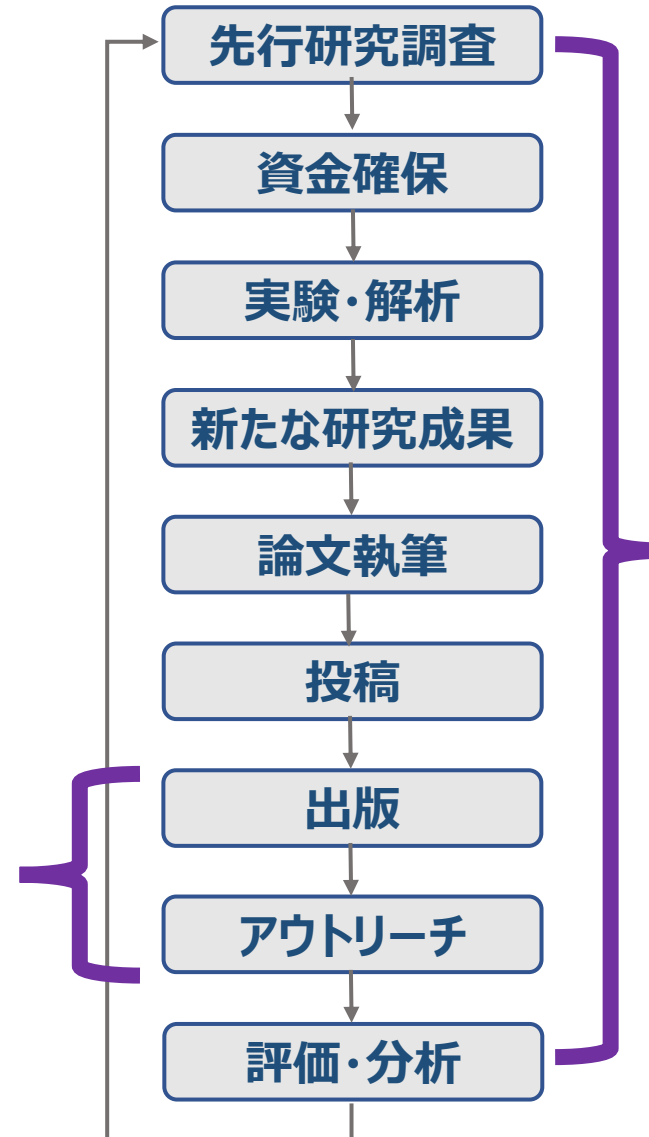


- すべての書籍を保管→デジタルへの移行？
 - 和書の電子化を進めるには？ > **出版業界**
- 建て替えられるなら「免震構造」に！！！！
 - 建築・設備構築における工夫、コスト > **建築関連業界**
 - 遺跡出没… > **埋蔵文化財保護行政関係**
- フィジカルとヴァーチャルの「いいとこどり」は？
 - 残したいコモンズ機能 > **教育学・心理学関係**
 - ロボットの活用も？ > **エンジニア等**

これまで

- ◆ 研究成果の収集・保存・発信
- 資料の購入・保存・提供
- 電子リソースの契約・アクセス環境整備
- 所蔵資料のデジタル化
- 学内研究成果の収集・保存・発信

研究ワークフロー



これから

- ◆ 研究プロセスへの関与
 - 研究データの管理・保存・発信
 - アカデミックリテラシー・アカデミックマナーに関する支援
 - 研究インフラの環境整備への一層の関与
- etc.

ニューノーマルを見据えた図書館の在り方

感染症拡大防止の観点
を踏まえたリアルな図書館
利用環境の整備

オンライン活用による
教育研究支援の機能強化

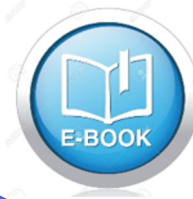
リアル空間

サイバー空間

Go! To! 図書館



オープンアクセス
電子ブック
デジタルアーカイブ
研究データ
オンライン教材



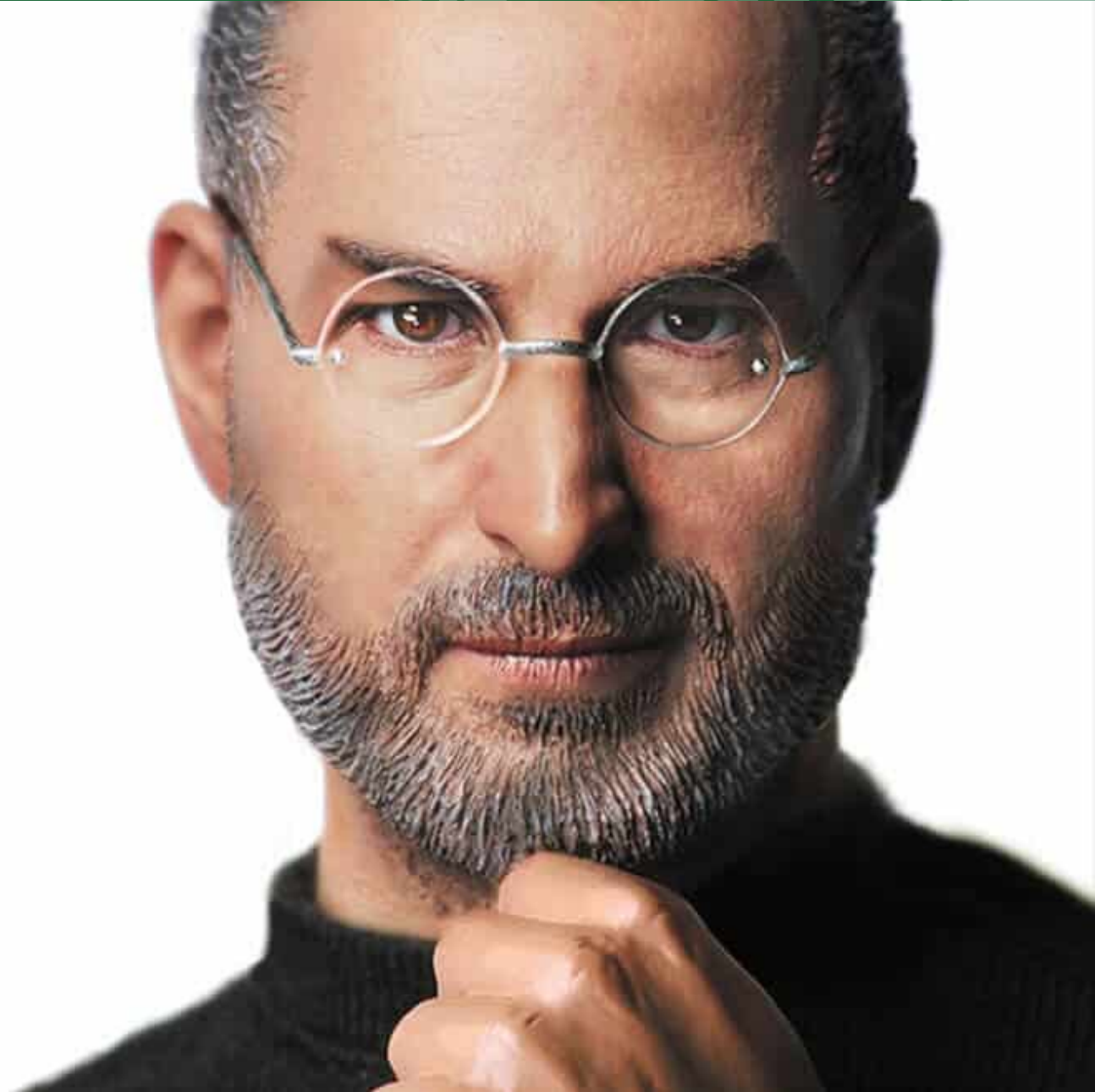
安心・安全な「場」としての
図書館サービスの再検討

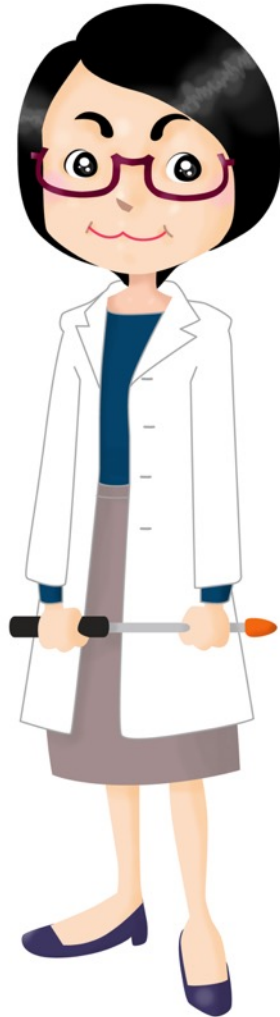


オンラインサービスの充実・強化
による教育研究DXの推進

ニューノーマルを見据えたハイブリットな図書館サービスの実現

Connecting dots...





**Be
Uncomfortable!!!**

「心地よいゾーン」から
一歩踏み出すこと

米国ワシントン大学学長
Ana Mari Cauce先生

<https://www.washington.edu/leadership/>

